

理学部の講義への不満

【ご意見・ご要望】（投稿日：2019年2月2日）

理学部の講義への不満です。

（理学部以外でもこうなってしまう講義はあるかもしれませんが。）

専門科目の授業が基本的にただ事実(定理と証明)を板書して、板書した通りに教授が読み上げるだけになってしまっている。

京大だからといって工夫された講義を受講できるわけではない。ただ内容の難易度が高いだけだ。

これでは何のために京大に来たのか分からない。

また、スピードが速すぎて講義中に理解が全然追いつかない。

高度な授業だと、先週分までの内容をしっかり復習して臨んでも、講義の後半の内容はさっぱり何を言ってるのかわからなくなる。（大抵の授業で教科書を使わない、事前に講義ノートがネットにあげられることはない、ので予習して臨むことはできない）（私の理解力が低いのではないと思われるかもしれないが、客観的に見て大変優秀な友人も同じような不満を述べていた）

これは、板書の内容が多いため講義中ずっと写す作業をしていて教授の説明にしっかり耳を傾けられないことも大いに原因である。

（黒板を写真で撮っておいて帰宅してからノートに写せば解決すると思うかもしれないが、90分の講義の板書をただ写す作業だけで60分はかかる。

内容の復習に時間を割きたい中、全科目でそんな時間を食うこととしてられない。）

結局講義は説明はほとんど聞けず板書写しに徹し、帰宅後にノートで復習、というスタイルになる。

これではせっかくの講義の意味を成していない。

（こうでも一応みんなが試験問題をある程度解けるのは京大生の自習能力が高いおかげ。講義の質がいいからではない。教授は学生の自習能力に頼り、講義の質を上げる努力を怠っているように思える。）

板書の内容をネットにアップして全て自習に任せる、というスタイルでいいではないかになってしまう。

本当に、おそらくほとんどの人にとって 講義=板書写し に成り下がってしまっている。

せっかく京大に来たのにこんななのか。

どう改善してほしいかですが、やるべき内容が多すぎて講義スピードを下げられないなら、最低限講義ノートの事前のアップをして頂きたいです。

生徒の理解を助けるいい説明や、講義から少し逸れても興味深い内容の紹介などあれば講義の意味が出てくると思います。

個人的には、ただ完成された体系を教えるのではなく、さまざまな概念についてその誕生の経緯、導入した動機、完成されていく歴史を踏まえつつ教えていただきたいと思います。こうしたものがないとあまりに味気ないです。

教壇に立ったことはないので実際良い講義をやろうと思ったら大変なのかもしれませんが、少しでも改善されてほしいので投書致しました。

不満点のみが込もった文章ですが、もちろん良く感じている部分も沢山あります。

【回答】（回答日：2019年7月2日）

（理学部）

ご意見いただきありがとうございます。

理学部の専門科目の中には、定義、定理、証明を中心にして授業を進めて行くやり方が標準的であるものが、数学関連の授業をはじめかなりあります。それは学問の性格上致し方ない面があります。その上で各教員が、学生の理解を深めるために、種々の工夫を講じる必要があることは言うまでもありません。これについては、学部として授業評価アンケートなどを実施してより良い授業に向けて取り組んでいる所です。今回いただいた具体的なご意見について、理学部全体で情報を共有し今後の参考にしたいと思います。

多くの数学の専門科目には「演習科目」が付いており、講義の理解に役立ちますので、是非演習科目も同時に履修することをお勧めします。理学部専門科目の勉強の仕方については、相談担当教員（教務委員）が相談に乗りますので、遠慮なく相談に来てください。また「数学質問コーナー」において、TAの方が数学の具体的な学習上のアドバイスをしてくれますので、こちらも積極的に利用してください。